

東京学芸大学

東京学芸大学創基 150周年記念企画展示

150年の歩み



①



②



⑥



③



④



⑤

【会期】2023年11月1日(水)～11月15日(水)

【時間】[平日] 8:30～21:30

(ただし、11/1は10:00から、11/6は8:30～17:00、11/15は12:00まで)

[土日祝] 11:00～18:00

【場所】東京学芸大学附属図書館1階 セミナーエリア

【主催】東京学芸大学大学史資料室 【共催】東京学芸大学附属図書館

【問い合わせ先】東京学芸大学大学史資料室

[メールアドレス] shiryou@u-gakugei.ac.jp [電話] 042-329-7277



東京学芸大学
創基150周年記念

150th Anniversary of foundation of Tokyo Gakugei University



東京学芸大学

東京学芸大学創基 150周年記念企画展示

150年の歩み

企画展示「東京学芸大学 150年の歩み」開催にあたって

東京学芸大学は、今年、創基 150 年を迎えました。本学が新制大学として出立したのは、1949 年の国立学校設置法に基づいてのことですが、その歴史は、1873 年設立の東京府小学教則講習所と、その後の東京府の各師範学校の誕生に遡ります。今回の企画展示では、この前身校時代(1873～1949 年)と新制大学以降の時代(1949 年～今日)を連続的に捉え返し、東京学芸大学の 150 年間の歩みを紐解くことを目指しました。展示に当たっては、大学史資料室所蔵の師範学校・大学に関する同時代の史資料や写真を多数用いました。

展示内容は、第一部：師範学校の歴史をふり返る〔①東京における師範学校の成立 ②師範学校の展開と戦時下の様子〕、第二部：東京学芸大学の歩み〔①東京学芸大学の創設とキャンパスの移り変わり ②大学の学びと学生生活 ③附属学校の歩み—小金井地区を中心に— ④発展し続ける東京学芸大学〕から成ります。

改めてこのように本学 150 年の歴史を連続的にふり返ったとき、それぞれの時代に要請される教員養成の政策的動向とそれを反映した本学の形がありながら、いつの時代にあっても、そこで学び研究する本学の学生とそれを支え共に歩む教職員の姿をみることが出来ます。その一人一人のひたむきな理想と情熱が、本学を支え、その歴史を培ってきたといえるでしょう。

この企画展示から、こうした本学の学生と教職員の息吹を感じ取っていただけることを願ってやみません。

なお、この企画の一部「師範学校における教育と生活」については、同じ附属図書館 3 階の大学史資料室常設展示にてご覧いただけます。また、東京学芸大学では、創基 150 年に合わせて、国立大学法人東京学芸大学編著『東京学芸大学 150 年の歩み 1873—2023』(学文社、2023 年)を刊行しており、こちらは大学HPからも読むことができます。ぜひそちらからも、この企画展示で示された本学の歴史の詳細を知って頂きたく存じます。

創基 150 年は本学の一つの節目ですが、これを機に私たちの東京学芸大学は、さらに未来に向けて発展し続けます。どうぞみなさまの本学への変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

2023 年 11 月 1 日

東京学芸大学大学史資料室長／副学長・附属図書館長

川手 圭一

【表面・写真キャプション】

- ① 東京府青山師範学校・世田谷新校舎(1937年)「卒業記念写真帖」1937年 12月
- ② 東京府女子師範学校・校舎(1924年)「卒業記念写真帖」1924年
- ③ 東京府豊島師範学校・正門(1930年代)「豊島師範学校校舎・寄宿舎等の写真(昭和10年以降20年までの写真)」
- ④ 東京府立青年学校教員養成所・門標(1940年頃撮影)「昭和44年撮影 創立20年誌写真資料」
- ⑤ 東京府大泉師範学校・校旗(1938年)「創立20年誌写真資料」
- ⑥ 東京学芸大学 時計台(2021年5月撮影)



東京学芸大学創基150周年記念
150th Anniversary of foundation of
Tokyo Gakugei University